

平成29年度

高校生ふるさと貢献活動・就業体験事業 実践報告



ふれあい環境科学教室



地域活性化



修理・修繕



修理・修繕



地域防災



インターンシップ



兵庫県立東播工業高等学校

— 目 次 —

【高校生ふるさと貢献活動事業】

- | | |
|--------------|-------|
| ① ふれあい環境科学教室 | P. 1 |
| ② 地域活性化 | P. 3 |
| ③ 修理・修繕 | P. 4 |
| ④ 地域防災 | P. 22 |

【高校生就業体験事業】

- | | |
|------------|-------|
| ⑤ インターンシップ | P. 26 |
| ⑥ 進路講演会 | P. 33 |

ふれあい科学教室

【実施内容】

11月11(土)に加古川ツデーマーチが開催され、多くの小学生が色玉づくりに参加してくれました。

イベントの終着地点である加古川市役所前広場において、

①「きれいな色玉を作ろう」

を準備し、実際に体験してもらいました。

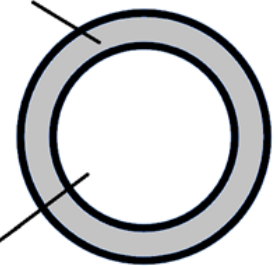
【目的】

様々な高度な玩具に囲まれ、日々生活をしている小学生に、捨ててしまうようなものであっても科学の知識を利用してはっと驚くようなものが自分でも作成できることを知ってもらう。

<原理>

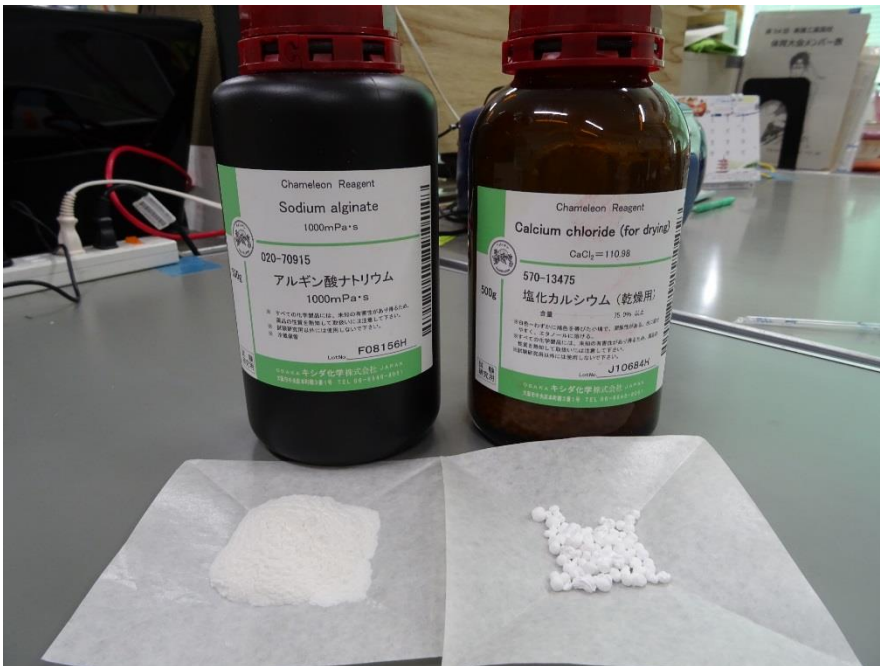
アルギン酸ナトリウムは昆布など海藻類のぬめぬめした成分です。塩化カルシウムは融雪剤や押し入れの湿気とりに用いられます。アルギン酸ナトリウム水溶液にカルシウムイオンを加えると不溶性のアルギン酸カルシウムが生じ、表面に皮膜が生じカプセル状になります。

アルギン酸カルシウムの皮膜



アルギン酸ナトリウム水溶液





小学生から大人まで多くの方々が私たちのブースに足を止めて参加してくれました。また、昨年も参加してくれた子供たちとも話すことができ、この活動の大切さを再確認できました。ありがとうございました。

【 補助員 】

1年生 : 池田 南郷 南
引率教員 松尾

地域活性化

機械科・電気科・建築科・土木科

- 1 事業名 実習作品展示・工作教室（第28回加古川ツーデーマーチ模擬店出店）
- 2 日程 平成29年11月12日（日）
- 3 目的 専門的知識・技能を活かして製作した実習作品について、地域の方々に紹介するとともに、あわせて工作教室を開催し、生徒のコミュニケーション能力を高めて生徒の能力の高揚と実習作品の質の向上に努める。これらの活動から地域に根ざした東播工業高校として、本校が発展していくことを目的とする。
- 4 参加生徒（延べ） 機械科4名 電気科10名 建築科4名 土木科4名
- 5 主な展示品
全科：各科の取組み等の紹介パネル
機械科：ペーパーウェイト、ダンベル、豆ジャッキ、ミニバイス、技能検定作品(旋盤)ものづくりコンテスト作品(旋盤)、ボルトロボットキット販売など
電気科：工作教室（LED照明）
建築科：レーザー加工機による作品展示・販売（3Dパズル、コースター、スマフォ立て）
土木科：治水模型、イベント「1mに切ってもらえませんか」

6 活動状況



全体風景 1



全体風景 2



機械科



電気科



建築科



土木科

- 7 おわりに 生徒たちは、実習作品の展示や工作教室を通して、来場者ならびに地域の方々に本校の取り組みを広く紹介することができ、生徒のコミュニケーション能力ならびに自己高揚感を得ることにつながった。今後も、継続的かつ発展的な取り組みを心掛けていきたい。

修理・修繕（機械科）

機械科 1

1	依頼先	東神吉町出河原 前田さん
2	派遣日時	2017年4月
3	引率職員	川井 真人
4	参加生徒	2名
5	修理・修繕の内容	動作不良の釣り用リールの修理
6	使用機具類	分解整備用各種工具、油脂類。
7	費用	無し
8	作業の様子	

リール1

① 錆び付いた駆動部分



② 分解中の様子

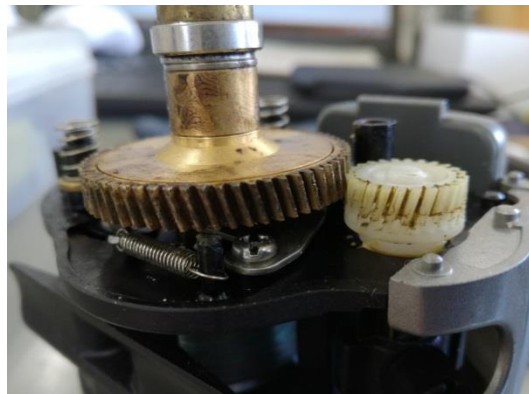


リール2

① 固着した駆動部分



② 内部の腐食で固着した軸受け



機械科 2

1	依頼先	東神吉町西井ノ口 長谷川さん
2	派遣日時	2017年5月2日
3	引率職員	山内 拓男・川井 真人
4	参加生徒	4名
5	修理・修繕の内容	溝蓋の修繕
6	使用機具類	アーク溶接、さび止め塗装
7	費用	機械科
8	作業の様子	

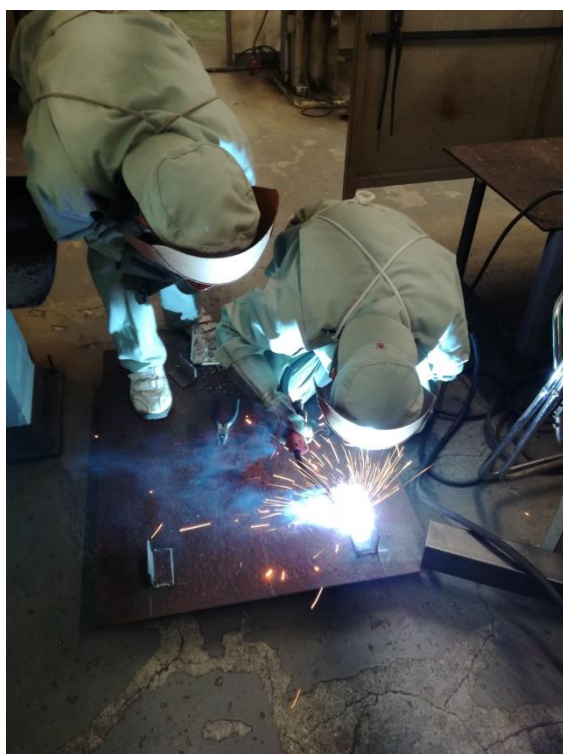
① ストッパーの位置が合わない溝蓋



② ストッパーの削り取り



③ ストッパーの溶接作業



機械科 3

1	依頼先	機械科
2	派遣日時	2016年6月13日
3	引率職員	山下 滋 ・ 川井 真人
4	参加生徒	4名
5	修理・修繕の内容	工具掛けの製作
6	使用機具類	スポット溶接、塗装
7	費用	機械科
8	作業の様子	

① 部品の加工



② 掛け金具部品



③ 完成



機械科 4

1	依頼先	本校職員
2	派遣日時	2017年8月
3	引率職員	川井 真人
4	参加生徒	2名
5	修理・修繕の内容	腹筋ベンチの溶接修理
6	使用機具類	半自動アーク溶接機、ディスクサンダー他
7	費用	なし
8	作業の様子	

① 溶接部分の破断した腹筋ベンチと、破断部分の拡大写真



② 溶接修理と再塗装した腹筋ベンチと、修理部分の拡大写真



機械科 5

1	依頼先	東神吉町西井ノロ 伊藤さん
2	派遣日時	2016年6月21日
3	引率職員	川井 真人 ・ 山内 拓男
4	参加生徒	2名
5	修理・修繕の内容	本校で販売したチリトリの修理
6	使用機具類	スポット溶接、塗装
7	費用	機械科
8	作業の様子	

① 取っ手部分の溶接の外れ



② 溶接と再塗装を行った



機械科 6

1	依頼先	東神吉町西井ノ口 脇坂さん
2	派遣日時	2017年5月10日
3	引率職員	川井 真人 ・ 山内 拓男
4	参加生徒	4名
5	修理・修繕の内容	郵便受けの裏蓋製作と押し切りの修繕
6	使用機具類	裁断機、ディスクサンダーその他
7	費用	機械科
8	作業の様子	

郵便受けの裏蓋製作

① 裏蓋のとれた郵便受け



② 鋼板で製作した裏蓋



③ つまみをつけて装着



押し切りの修繕

① 錆びて痛んだ押し切り



② 溶接部分の補修と刃先の研ぎ仕上げ



③ 塗装して完成



機械科 7

1	依頼先	東神吉町西井ノ口 丸山さん
2	派遣日時	2017年5月11日
3	引率職員	川井 真人
4	参加生徒	2名
5	修理・修繕の内容	物干し金具と園芸用具の溶接修理
6	使用機具類	MIG 溶接機
7	費用	機械科
8	作業の様子	

物干し金具の溶接修理

① 部品の外れた物干し金具



② 溶接して修理



園芸用品の溶接修理

① 外れていた溶接部分の修繕



② 完成



機械科 8

1	依頼先	東神吉町西井ノ口 脇坂さん
2	派遣日時	2017年11月
3	引率職員	川井 真人 ・ 山内 拓男
4	参加生徒	5名
5	修理・修繕の内容	倉庫扉の製作
6	使用機具類	ガス溶接機、裁断機、ドリル、リベッター他
7	費用	依頼者(材料費)
8	作業の様子	

倉庫扉の製作

① 元の扉(内側)



② 元の扉(外側)



③ 元の扉(ひずみの様子)



④ 新調して設置した扉(内側、取手と鍵)



⑤ 新調して設置した扉



機械科 9

1	依頼先	東神吉町西升田 藤本さん
2	派遣日時	2017年11月
3	引率職員	川井 真人 ・ 山下 滋
4	参加生徒	2名
5	修理・修繕の内容	トラクター尾輪アームの曲がり修正
6	使用機具類	ガストーチ
7	費用	なし
8	作業の様子	

① トラクター尾輪



② 曲がった部分をガスであぶって修正



③ 塗装



④ 完成



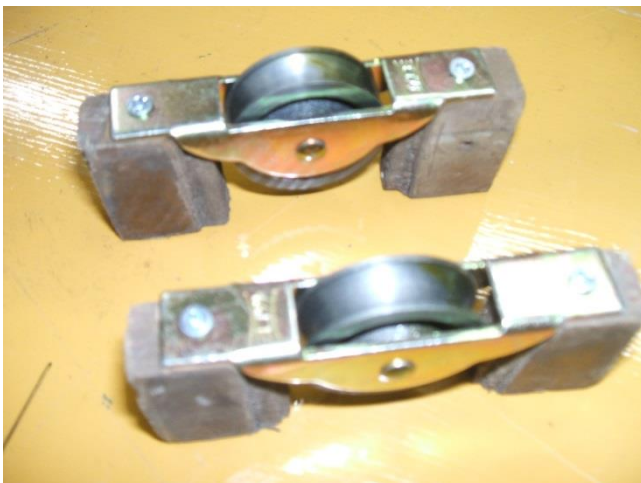
機械科 10

1	依頼先	東神吉町神吉 芝田さん
2	派遣日時	2017年11月
3	引率職員	山下 滋
4	参加生徒	2名
5	修理・修繕の内容	引き戸の戸車交換修理
6	使用機具類	工具
7	費用	依頼者(部品代)
8	作業の様子	

① 錆びて動かなくなった戸車と交換用の戸車



② 新しい戸車を固定部品に装着

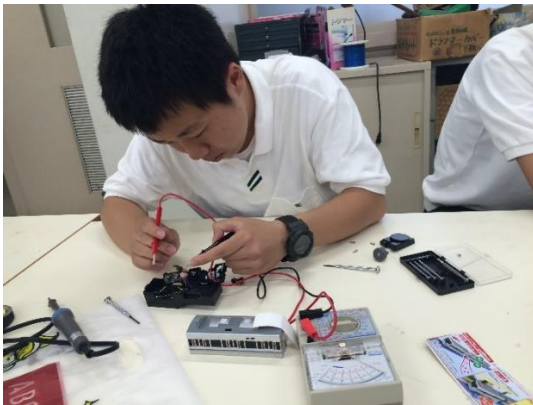


修理・修繕（電気科）

電気科 1

1	依頼先	東神吉町神吉 北室さん
2	派遣日時	2017年6月7日
3	引率職員	金中 宏之
4	参加生徒	5名
5	修理・修繕の内容	プラレールの接触不良の改善 船のおもちゃが動かないため、接触不良の改善、部品交換
6	使用器具類	はんだ、はんだごて、ドライバ、ペンチ、テスタ
7	費用	電気科
8	作業の様子	

プラレール

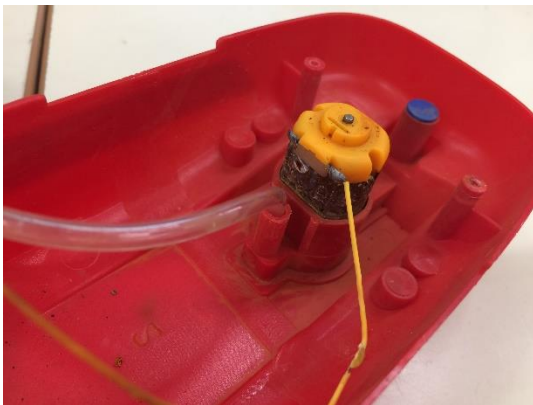


分解し破損箇所や接触不良をチェック

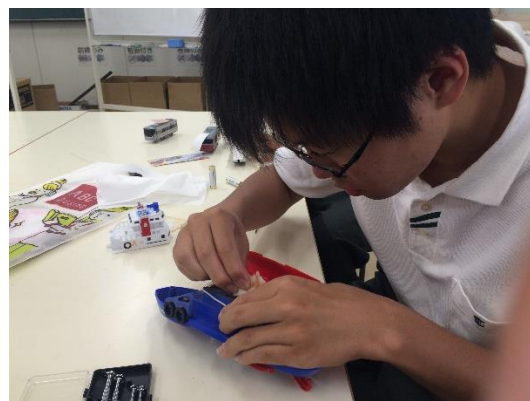


接触不良の改善

船のおもちゃ



分解すると断線及び錆がたくさん



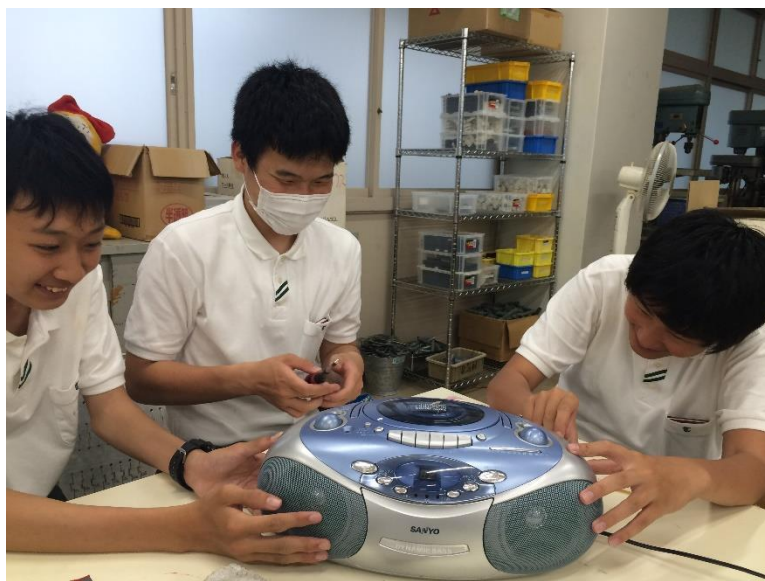
きれいに掃除し結線しなおし

今回の修理は初めてで時間が掛かりました。破損箇所の確認を行い分解して掃除や断線部分を直したり、さびている部品の研磨や交換を行った。船は綺麗に修理することが出来たが、プラレールは3台中2台修理することが出来たが、1台は音が鳴らずセンサ部分が壊れている可能性があったため修理することが出来なかった。

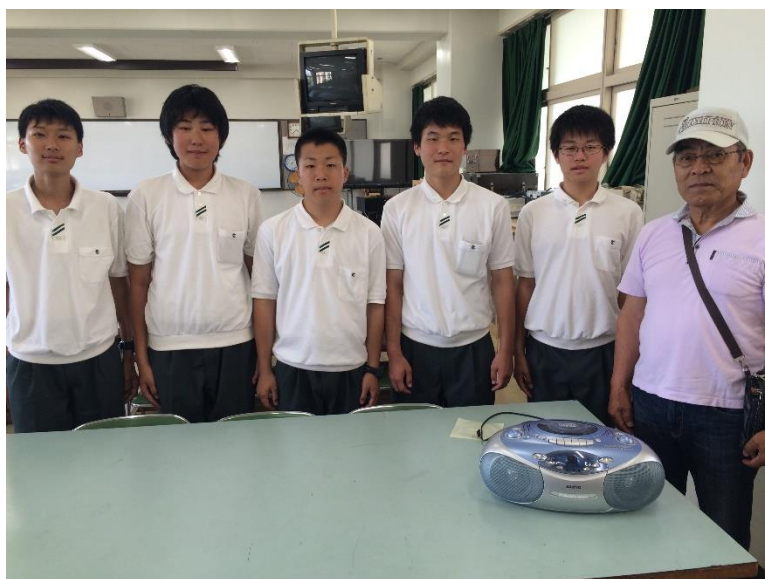
電気科 2

1	依頼先	東神吉町砂部 竹谷さん
2	派遣日時	2017年6月7日
3	引率職員	金中 宏之
4	参加生徒	5名
5	修理・修繕の内容	ラジカセの音が鳴らないため、断線や接触不良を確認・改善
6	使用器具類	はんだ、はんだごて、ペンチ、テスタ、はんだ吸い取りき、ドライバ、エアダスター、潤滑剤
7	費用	電気科
8	作業の様子	

ラジカセ



分解する様子



竹谷さんに修理済みのラジカセを取りに来てもらった時の写真

今回の修理は、ラジカセの音が鳴らず、少し古かったため、中を開けて悪い所や断線箇所がないかを探した。ほこりの蓄積や、ボリューム抵抗がさびていたため、掃除し綺麗にしたところ、音がなり、修理完了した。依頼主の方にも喜んでもらい、やりがいを感じた。

修理・修繕（建築科）

建築科 1

1	依頼先	荒木さん
2	施工日時	平成 29 年 6 月 19 日
3	引率職員	富田耕司・岩本拓也
4	参加生徒	6 名
5	修理・修繕の内容	ブラインド取り替え
6	使用機具類	インパクトドライバー
7	費用	ブラインド本体、
8	作業の様子	

① 古いブラインドの取り外し



② ブラインド取付



建築科 2

1	依頼先	亀岡さん
2	施工日時	平成 29 年 12 月 19 日
3	引率職員	富田耕司・岩本拓也
4	参加生徒	6 名
5	修理・修繕の内容	樋の取り替え
6	使用機具類	インパクトドライバー、鋸
7	費用	塩ビパイプ、接着剤、取付金物
8	作業の様子	

① 古い樋の取り外し・加工



② 樋の取り付け



建築科 3

1	依頼先	西神吉町宮前 638 佐伯さん
2	施工日時	平成 29 年 6 月 19 日, 26 日
3	引率職員	西山 喜詞
4	参加生徒	7 名
5	修理・修繕の内容	小屋改装工事
6	使用機具類	インパクトドライバー、鋸、コンクリートドリル等
7	費用	依頼者負担
8	作業の様子	



写真を振り回さなくなってしまいありませんが、前回の組み立てたものの中に、柱部材・横架材を取り付けいく。また、同時進行でそこに取り付けるコンパネを切断していく。

切断したコンパネを持ち上げて、取り付けていく作業です。一人では持てないため、手の空いている人にも手伝ってもらいます。



ビスでしっかりとコンパネを止めつけていきます。

コンパネのつなぎ目には、角材をいれて、ビスが止められるよう、また壁がしっかりするようにします。



精度を上げるためにも、何度も寸法チェックをします。

断熱材を切断し、表側にコンパネのついた部分から断熱材を裏側にはめ込んでいきます。



あとは壁板、断熱材、壁板と同様に作業。

完成！ 最後に記念撮影です。



修理・修繕（土木科）

土木科 1

1	依頼先	コープ神戸神吉店・西神吉小学校・東神吉町周辺
2	派遣日時	2017年4月21日（金）～6月23日（金）
3	引率職員	岩本 好一
4	参加生徒	7名
5	修理・修繕の内容	飛出し人形の製作 6体
6	使用機具類	糸鋸盤・コンパネ・パイプ加工一式、コンクリート打設一式 等
7	費用	約1,000円×6体
8	作業の様子	



▲人形の形取り



▲人形の色塗り



▲支柱台に取り付けるパイプを加工



▲支柱台コンクリートミキサー使用



▲空気を十分に抜くため振動を与える



▲支柱台に人形を取り付けて支柱をまっすぐに立てる



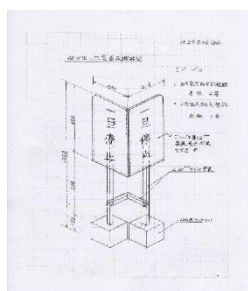
▲水中養生



完 成

土木科 2

1	依頼先	加古川市東神吉町出河原町内会
2	派遣日時	2017年7月7日(金)～9月22日(金)
3	引率職員	岩本 好一
4	参加生徒	7名
5	修理・修繕の内容	「一旦停止」看板の作製
6	使用機具類	バイブレーター・コンパネ・ハンマー・スパナ・釘 等
7	費用	約1,000円×5体(材料費)
8	作業の様子	



▲設計図面 重量約140N/1体



▲鉄製角パイプをL字に部品加工



▲一旦停止看板と支柱の加工



▲手練りコンクリート打設



▲完成



▲設置状況

東神吉町出河原五軒屋地区より、危険交差点(2箇所)に関する説明を受け、「一旦停止看板」を製作することになりました。実際には町内会で連携が取れておらず当初の設置状況(L字金具使用)と違い、再度製作をやり直しました。製作の際に、機械科の川井先生に多大なるご尽力をお掛けしましたことを書面にてお礼申し上げます。

土木科 3

1	依頼先	加古川市西神吉町大国 723-15 理容店
2	派遣日時	2017年9月29日(金)～10月13日(金)
3	引率職員	岩本 好一
4	参加生徒	7名
5	修理・修繕の内容	階段のコンクリート修理とエクステリア
6	使用機具類	スパナ・ハンマー・手擦り 他
7	費用	10,000円(材料費)
8	作業の様子	



▲着工前



▲ 掘削後基礎モルタル (□300×300 H=300mm) を流し込み



▲ 階段の一番下段のモルタル敷ならし



▲手擦り取り付け



▲ 完 成

土木科生徒もいろいろな工具や機械を使うことにより、一人一人の興味関心がわかった。また、自らが技術・技能を学ぶことができ、自尊感情や自己肯定感も窺えた。

東播工－災害支援プロジェクト T-DAP

防災リーダーの育成 ～『助ける』側へ～

防災教育推進委員会

1 実施内容(概要)

(1) 安全で安心な社会づくりに貢献する教育の推進

平成27年4月から『東播工－災害時支援プロジェクト』(T-DAP)を立ち上げ、「防災の知識・技術」と「共助の力」の育成を目指して取り組んだ。主な取り組みを示す。

- ・「災害時支援チーム」(T-DAT)の結成
- ・「地域合同防災避難訓練」(主催：本校)の実施
- ・「高校生防災ジュニアリーダー研修合宿」(主催：兵庫県教育委員会)への参加
- ・「平成29年熊本地震被災地支援活動」の実施

(2) 学校防災体制の充実

本校「災害対応マニュアル」が機能するよう「地域合同防災避難訓練」ではマニュアルに従って教職員が生徒や地域の方の避難誘導等、災害時の初動対応を中心とした訓練を行った。

2 具体的な取組

実施時期	実施内容																					
4月1日	<p>1. 「防災教育推進委員会」設置 本校の防災教育を推し進める委員会が校内に設けられ、組織的対応を行う。</p>																					
5月	<p>2. 平成 29 年度「災害時支援チーム」(T-DAT) 結成 災害時にすぐに対応できる校内体制を整備した。【登録人数：生徒 28 人】</p>																					
7月5日	<p>3. 募金活動「九州北部豪雨災害義援金」 コープこうべ神吉店頭にて募金活動を実施。日本赤十字社兵庫県支部を通じて 39,606 円を寄付 【参加人数：教職員 2 人、生徒 8 人】</p>																					
7月13日	<p>4. 「地域合同防災避難訓練」(主催：本校)の実施 今年で3回目となる訓練には、地域の方を含め総勢約 900 人が参加。生徒たちは、各学年に分かれ表-1 の実践的な訓練を行った。また、生徒有志による地域住民の避難誘導・補助も行った。</p>																					
表-1 訓練内容																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>指導</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>・土のう作り ・初期消火 ・ロープワーク</td> <td>加古川市中央消防署西分署 加古川市消防団西神吉分団 および東神吉分団 自衛隊</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>・避難所運営ゲーム HUG</td> <td>兵庫県防災士会</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>・救急法 (心肺蘇生・包帯法・応急処置) ・搬送法 ・木造仮設住宅の組立て</td> <td>兵庫大学救命救急サークル ひょうご建設ネットワーク</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>災害対応マニュアルに従い訓練</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>非常食 炊出し・提供・試食</td> <td>自衛隊</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>避難訓練・加古川市避難指示について ※生徒たちが避難誘導・補助</td> <td>加古川市危機管理室</td> </tr> </tbody> </table>		内容	指導	1年生	・土のう作り ・初期消火 ・ロープワーク	加古川市中央消防署西分署 加古川市消防団西神吉分団 および東神吉分団 自衛隊	2年生	・避難所運営ゲーム HUG	兵庫県防災士会	3年生	・救急法 (心肺蘇生・包帯法・応急処置) ・搬送法 ・木造仮設住宅の組立て	兵庫大学救命救急サークル ひょうご建設ネットワーク	教職員	災害対応マニュアルに従い訓練		全体	非常食 炊出し・提供・試食	自衛隊	地域住民	避難訓練・加古川市避難指示について ※生徒たちが避難誘導・補助	加古川市危機管理室
	内容	指導																				
1年生	・土のう作り ・初期消火 ・ロープワーク	加古川市中央消防署西分署 加古川市消防団西神吉分団 および東神吉分団 自衛隊																				
2年生	・避難所運営ゲーム HUG	兵庫県防災士会																				
3年生	・救急法 (心肺蘇生・包帯法・応急処置) ・搬送法 ・木造仮設住宅の組立て	兵庫大学救命救急サークル ひょうご建設ネットワーク																				
教職員	災害対応マニュアルに従い訓練																					
全体	非常食 炊出し・提供・試食	自衛隊																				
地域住民	避難訓練・加古川市避難指示について ※生徒たちが避難誘導・補助	加古川市危機管理室																				

教職員も、本校「災害対応マニュアル」に従い避難誘導や初期消火、生徒の安否連絡の対応などの訓練を実施し、随時見直しを行っている。さらに、今年度は、木造仮設住宅の組立てや非常食（アルファ米）の炊出し・提供にも取り組んだ。食料提供では、自衛隊・PTA と一緒に行い、どうすれば公平かつスムーズできるか考える機会となった。



(a) 1年生 初期消火（放水訓練）



(b) 2年生 避難所運営ゲーム



(c) 3年生 救急法・搬送法



(d) 3年生 木造仮設住宅組立て



(e) 非常食の炊出し・提供



(f) 地域住民の避難誘導・支援



(g) 住民への避難指示の説明
by 加古川市危機管理室

**仮設住宅を組み立て
東播工高生、防災訓練で**

東播工業高等学校（東播）は、東播工業高等学校（東播）の生徒たちと加古川市東播吉町神吉の仮設住宅を組み立てる。生徒たちは、仮設住宅の組立てや初期消火、避難所の運営方法を学ぶゲーム、自衛隊の搬送や救急救助、おにぎりの炊き出しなどに取り組んだ。

東播工業は、市の緊急要請に応じ、東播工業高等学校（東播）の生徒たちと加古川市東播吉町神吉の仮設住宅を組み立てる。生徒たちは、仮設住宅の組立てや初期消火、避難所の運営方法を学ぶゲーム、自衛隊の搬送や救急救助、おにぎりの炊き出しなどに取り組んだ。

2017年(平成29年)7月14日(木)
朝日新聞（朝刊）

東播工業は、市の緊急要請に応じ、東播工業高等学校（東播）の生徒たちと加古川市東播吉町神吉の仮設住宅を組み立てる。生徒たちは、仮設住宅の組立てや初期消火、避難所の運営方法を学ぶゲーム、自衛隊の搬送や救急救助、おにぎりの炊き出しなどに取り組んだ。

(h) 平成 29 年 7 月 14 日
「朝日新聞」記事

写真-5 地域合同防災避難訓練の様子

【参加人数：全教職員、全校生徒、地域防災機関、地域住民 総勢 900 名】

7月
21～23日

5. 「中学生・高校生防災ジュニアリーダー研修合宿」(主催：県教委)への参加

「熊本地震の報告」「アクションプランの作成」など6つの講義と5つのワークショップが行われ、災害に対する知識を過去の災害から学ぶとともに、将来の災害において臨機応変に対応できる力を身に着けるため、講義やワークショップ等の研修を通して、防災について学んだ。【参加人数：教職員1人、生徒3人】

8月
2～4日

6. 「中学生・高校生防災ジュニアリーダーによる東日本大震災の被災地支援」(主催：県教委)への参加

大川小学校の視察や東松島市大曲地区仮設住宅を訪問し、被災地の現状を知るとともに、被災地の高校生徒と交流した。伝えること、支援を続けることの大切さを学んだ。【参加人数：生徒2人】

12月
13～16日

7. 「平成29年熊本地震被災地支援活動」の実施

12月13日(木)～16日(土)の4日間、熊本地震で被災され今なお仮設住宅での生活が続く熊本市南区の塚原仮設住宅に行き、「学んだ技術でボランティア」をテーマに東播工-災害時支援チーム(T-DAT)を含む1・2年生の生徒有志27名と引率教員4名で工業的なボランティア活動(①プランター製作、②公園へのスロープ整備、③散歩コース整備)を行った。

生徒たちは達成感を感じるとともに、学んでいる技術が社会に役立つことを実感し帰ってくる事ができた。まだまだ継続的な支援が必要である。来年度もまた多くの生徒が参加してくれることを期待している。最後に、ご支援・ご協力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。【参加人数：塚原仮設住宅住民の皆さん、熊本県社協、熊本市社協、教職員4人、生27人】



歓迎式 ～自治会長さんの挨拶～
くまモンの「元気旗」を振ってたくさん
の住民の方に歓迎いただきました。



昼食交流会
お昼に炊出しをしてもらい、住民の方と
一緒に昼食を食べながら交流しました。



お見送り
ボランティアを終え、お別れの時、たく
さんの住民の方が見送ってくれました。



プランター製作(8個)
様々な木工工具を駆使して部品を作り、
おじいちゃんと協力して組み立てた後、
おばあちゃんが防錆剤を塗って完成。



仮設住宅から公園へのスロープ整備
階段の予定が急造スロープに変更依頼。
切土・盛土が同じになるように斜面を設
定。カッコイイ手すりもつけました。



散歩コース整備
測量器械を使って位置を決め、①散歩コ
ースの白線、②くまモンの足跡、③集会所
につづく猫の肉球*をペイントしまし



修理した車椅子の寄贈
熊本県社会福祉協議会を通じて、機械科・
空飛ぶ車いすサークルで修理した車椅子
を鎮西中学高校に寄贈しました。



ミニ門松のプレゼント
宿舎で19:00～消灯直前までかけて、
90世帯分のミニ門松を協力して作り、
プレゼントしました。



熊本城修復現場見学
至る所で石垣が崩れ、建物が傾いていま
した。熊本城の完全修復には20年を要す
とのことでした。

図-3 熊本地震被災地支援活動



2017年（平成29年）12月14日木曜日
神戸新聞（朝刊）

図-4 新聞記事

11月以降
11月
18日
12月
22日
2月1日

9. 活動報告会への参加

以下の場で活動報告するとともに、他校の活動についても学び刺激を受けた。

- ① 平成 29 年度 兵庫県中学生・高校生防災ジュニアリーダー活動報告会
【参加人数：教職員 1 人、生徒 3 人】
- ② 平成 29 年度 熊本地震被災地支援活動報告会（校内）
【参加人数：発表者 27 人、全教職員、全生徒】
- ③ 平成 29 年度 高校生ふるさと貢献活動事業活動発表会（校内）
【参加人数：全教職員、全生徒】

3 取組における成果

『東播工―災害支援プロジェクト』(T-DAP) を立ち上げ 3 年。2016 年度の「防災教育チャレンジプラン」で掲げた 3 本柱（①地域連携型組織的防災活動、②災害時支援チーム (T-DAT) の派遣、③工業高校の特色を生かした「ものづくり防災活動」）を継続・発展させた取り組みを行うことができた。

①は、たくさんの防災関係の団体に参加してもらえる訓練になり総勢 900 人が参加した。新しいプログラムも入れ各方面からの視察もあった。②では防災 Jr リーダー活動に参加し他校の生徒たちと心構えを学んだ。さらに、今年度は「熊本地震被災地支援活動」を実施し、次の世代を担う 1, 2 年生の有志 27 名（1 年生 17 人、2 年生 10 人）が参加し、工業的なボランティアを通して被災地との交流を図った。生徒たちは達成感を感じるとともに、学んでいる技術が社会に役立つことを実感し帰ってくる事ができた。

こうした様々な経験を通して「自分たちが中心となって主体的に取り組もう」とする自然な流れができたことが最も大きな成果である。

4 課題

近年増加する気象災害に対応できる「災害対応マニュアル」の見直しをはじめ、“いざ”というときに動ける組織的な対応力向上に向けても継続的な取り組みと改善を行っていく必要がある。

5 最後に

この取り組みは、県教委「防災教育推進校」になったことをきっかけに活動が始まった。今年度も、こうした活動は本校 PTA ならびにクラブ振興会、同窓会、国際ソロプチミスト加古川からご支援いただき、また今回の被災地支援活動はひょうごボランティアプラザの助成事業を活用し実施できた。

このように多くの方のご協力とご指導、ご支援を得て実現できたものばかりである。今後も、中長期的視野に立って地域の防災力向上につなげて地域に貢献していきたい。

最後になりましたが、関係各位に厚く御礼申し上げます。

インターンシップ(就業体験事業)

就業体験委員会

1 インターンシップの意義

卒業生の約80%が就職する本校において、インターンシップ(就業体験)は生徒が自分自身の進路を考える上で貴重な機会のひとつである。わずかな日数であるが、企業で体験する様々な活動を通して労働の厳しさやコミュニケーションの大切さを肌で感じるようになるだろう。また、就業体験は能動的な学習活動であり、生徒自身が自ら考え、行動し、時には悩むことによって、新たな発見や価値を生み出すことができる。

2 実施内容

- (1) 期 間 11月13日(月)～17日(金)の期間における原則5日間
- (2) 受け入れ事業所(企業、保育園、自治体)
 - ・民間企業 88社 ・保育園、こども園 7施設 ・自治体関係 2件 計97
 - 詳細については「受け入れ事業所一覧」を参照
- (3) 参加生徒 2学年生徒224名

3 上記以外の期間に実施され参加したもの

上記の他に、これまで参加実績のある事業所や、受け入れ時期の決まっているものについては、今年度についても参加希望を募り、別途実施した。(参加生徒は上記と重複する)

- (1) 川崎重工業株式会社 明石工場
 - ・期 間 8月8日(火)～10日(木)の3日間
 - ・参加生徒 機械科1名
- (2) 兵庫県庁(県庁インターンシップ)
 - ・期 間 8月21(月)～25日(金)の5日間
 - ・参加生徒 電気科1名
- (3) 加古川市役所
 - ・期 間 8月21(月)～25日(金)の5日間
 - ・参加生徒 土木科1名
- (4) 加古川市消防 加古川中央消防署
 - ・期 間 10月11日(水)～13日(金)の3日間
 - ・参加生徒 5名(電気科2名、建築科2名、土木科1名)
- (5) Vプレミアリーグ加古川大会補助役員
 - ・期 間 12月2日(土)1日間(別途事前講習会1日受講)
 - ・参加生徒12名(バレーボール部部員)

4 本年度実施の主な流れ

月	内 容
4 月	・第1回就業体験委員会 ・川崎重工業(株)明石工場、加古川中央消防署のインターンシップ参加希望生徒の調査
5 月	・企業訪問時にインターンシップの協力を依頼。 ・事業所へ受け入れの意向打診
6 月	・生徒向け第1回インターンシップ説明会(6/14) ・兵庫県電業協会に加盟企業の受け入れ協力を依頼 ・第2回就業体験委員会
7 月	・生徒向け第2回インターンシップ説明会(7/20) ※保護者向け説明資料、受け入れ企業一覧及び希望事業所のアンケートを配布(アンケートの提出締め切りを8/25とする)
8 月	・川重明石工場インターンシップ実施(8/8~10) ・県庁インターンシップ実施(8/21~25) ・加古川市役所インターンシップ実施(8/21~25) ・下旬よりアンケートにもとづき、生徒振り分けを行う
9 月	・第3回就業体験委員会 ・生徒振り分け完了(9月末) ・加古川中央消防署に依頼状を持参(上旬)
10月	・事業所へ参加生徒の報告及び「インターンシップ参加に関する確認事項」の送付 ・兵庫県電業協会との事前打ち合わせ ・加古川中央消防署インターンシップ実施(10/11~13) ・兵庫県電業協会加盟7社との受入れ説明会
11月	・学年集会でのインターンシップ事前説明会(11/9) ・インターンシップ実施(11/14~18) ・受け入れ事業所へ生徒の礼状を送付
1月	・インターンシップ受け入れ先事業所宛に、感想文集の送付

5 今後の課題

- (1) 受入日数としては、5日間を基本にお願いしたが、5日間実施の事業所は97事業所の内約53%の57事業所にとどまり、定休日の関係で4日間の事業所が8事業所、3日間は38事業所と多かった。このため、3・4日コースの生徒については、残りの日数を登校させて、進度を進めない形での授業の実施としたが、どうしても中途半端なものになったことは否めない。

また、職員にとっても、通常の授業時間と変わらない中、事業所に訪問する必要があるため、負担が大きかった。5日間の実施を継続するためには、事業所に対して、5日間の受入をお願いすると共に、新規開拓も継続して行う必要がある。

新規開拓に関しては、企業訪問の際に、近隣事業所を中心に具体的な依頼ができるように準備をしておく必要がある。また、登校生徒の授業内容についても検討する必要がある。

- (2) 生徒の振り分けに時間がかかってしまい、事業所への連絡が遅れてしまい、その後のスケジュールが詰まってしまった。生徒が参加する事業所のことを調べる時間の確保と、説明会の内容及び、事前指導にも工夫が必要。次年度は、今年度の実実施計画よりも早めに進める必要がある。

- (3) 学校行事としての位置付けと、そのための組織的な取り組みの構築。

事前の指導や、事後の礼状、感想文の指導等、学年や各科だけでの取り組みでは無理が生じる。

今回全職員が担当する行事としたが、検討不足・準備不足の点が多々あった。来年度を見据えた検証が必要であろう。

- (4) 加古川中央消防署と川崎重工業(株)明石工場のインターンシップについては、4月に希望者を把握する必要がある。また、加古川市役所、兵庫県庁(県庁インターンシップ)も別途希望調査、

手続きが必要である。

【インターンシップに参加して ― 生徒感想文より】

[機械科]

今回、私はインターンシップで様々な経験をさせていただきました。1日目は安全についての講習、工場見学、製品の洗浄をさせていただきました。ターゲット材がどのように作られるのかを教えてくださいました。2日目は、製品のバリ取り、洗浄、ハンドクレーンでの製品の移動をさせていただきました。製品を持ち上げる時にとっても緊張しました。3日目は、フライス盤での外周加工、仕上げ加工を見学しました。100分の1の単位での加工にとっても驚きました。インターンシップを通して感じたことは、働きながら日々成長していくということです。学校では学べないことが仕事現場には沢山あるということもわかりました。今回の経験を通して、働くということ製品を作るということが少しわかりました。今回学んだことを生かし就職に向けて日々成長していきたいと思えます。



[機械科]

今回のインターンシップでは、普段知れない事や、見た事の無いものを沢山見る事が出来ました。1日目は厚板工場等の工場見学をさせていただきました。2日目は小型の油圧シリンダーを分解整備しました。3日目はカップリングの芯だしと修理中の工場を見学させていただきました。4日目はYレベルの設置、操縦をしました。5日目はキーホルダーを製作しました。インターンシップを通して一番印象に残っているのは、細かいルールが存在することです。昔はそんなに厳しくなかったと聞きましたが、安全確保の為にルールが段々と厳しくなっていたそうです。仕事をするという事は、ルールを守るという事でもあるという事、それが自分自身を守る事にも繋がるのだなと思えました。



[電気科]

今回のインターンシップでは、学校の実習ではしないことを沢山していただきました。高砂町にある江戸時代に建てられた工楽邸の配線図を見たり、電気工事をしました。現場で使う単線図は、実習で使う単線図より複雑でした。だから、どこがどこの線か分からなかったです。けれど、スイッチを、付けるときにどこから線が来ているか説明してくださったので、すぐに理解しました。そして、スイッチを付けるときに、電動のドライバーを使ったので早く付けられました。カバーも目立たないように木材に合わせた色を使っていました。今回のインターンシップでは、電気工事がいかに大切であるかということと、電気に関する知識を学んでいなければ事故に遭うということを知りました。将来、電気工事をする企業に就職したいので、もっと学んでいきます。



[電気科]

今回のインターンシップでは、普段できないことや、知れないことや、見たことのないものを沢山見る事ができました。1日目は安全についての話を聞きました。KY活動も教えてください実際に現場に行ってKY活動しました。2日目は導通検査をして安全確認しました。KY活動も検査をしながらしました。3日目は1日目、2日目でしてきた事をもう一度して先生に今までしてきた事を見てくださいました。第1種電気工事士の実技の練習もさせていただきました。この3日間最初緊張していた僕たちの緊張をほぐしてくださって、移動中も楽しく話しかけてもらいました。今回のインターンシップではとても楽しく新しい事ばかり教えていただきいい経験になりました。電気工事関係に就職した



いと考えているので、今回学んだ事を今後の人生に生かしていきたいと思います。

[建築科]

私はインターンシップに行きまして今まで就職について何も実感が無かったし、自分が何をしたいのか想像つきませんでした。会社での作業を具体的に聞いたり、現場も初めて見に行きまして、現場監督に学校で教えてもらえない現場のことや、教科書や製図でしか、見たことのない部材などを見ることが出来てとてもいい経験が出来ました。今まで設計の業務とは図面を描くだけだと思っていましたが、壁紙の色を決めたり、床の色を決めるのにコーディネートするのも設計の仕事だと知りました。そんなことをする仕事も楽しそうに興味を持てるものと感じました。今回は初めて経験することが多すぎて、かなり緊張しましたが、作業を行ったり現場を見学したりするうちに、この経験を活かした就職先を探したいと思いました。



[建築科]

今回のインターンシップで一番心に残ったのは現場での作業です。いつも学校での授業は教科書を見たり、ノートを書いたり地味な作業を続けるのですが、現場での作業は教科書に載っている写真などを実際に目で見て仕事をして興奮しました。現場の人たちはとても優しく、授業では学べないことを、現場をしながらだからこそわかること教えていただきました。会社の本社では事務の作業をしたり、東播工業高校の卒業生のお話を聞いたり、とても有益なことばかりで将来働くのが楽しみになりました。今回のインターンシップで現場監督のことや将来の人生などいろいろな道が開けてきた気がします。これから就職試験まで気を抜かず頑張りたくです。お世話になった現場の方々、会社の方々本当にお世話になり、ありがとうございました。



[土木科]

今回のインターンシップでは、様々な体験をすることができました。色々な現場や工場などに行かせてもらって普段では見ることができないものを見ることができました。一番印象に残っていることは、阪神電鉄の線路の移設工事です。実際に職人さんたちが働いている現場を生で見させてもらえました。線路の近くで電車が走っているのを見たことも印象に残っています。次に印象に残っているのはドローンを飛ばしたことです。最先端の測量技術に触れることができとてもよかったです。他にも色々なことを経験できてすごく自分のためになりました。どんな会社に就職するかは、まだわかりませんが勉強など今できる努力をし、誇りをもって仕事ができるよう日々頑張っていきたいです。



[土木科]

今回のインターンシップでは、初めて経験することばかりでした。一日目は、高砂浄化センターを見学させていただきました。汚染された水を、どのようにきれいにして海に流すのか、その工程を学びました。二日目は、マンホールの開け方を教えていただきました。その後水道管の工事現場見学をして、レベルで測量をやりました。三日目は米田水源地を見学しました。水を飲み水にする工程が分かりました。このインターンシップで私が学んだことは、「何事も経験することが一番」ということです。教室で勉強するよりも実際に経験した方が覚えやすいということを実感しました。土木の仕事は日常生活に深く関わっていることや、生活を維持していくために必要不可欠なものだと改めて強く思いました。



【受け入れ事業所の声（抜粋）】

学生さんたちとの楽しい時間をありがとうございました。皆様 とても良い子達で 弊社の担当スタッフも非常にやりやすかったと聞いております。又 来年も 宜しければお声かけくださいませ。今後とも どうぞ よろしく願いいたします。

大変元気の良い学生さんにご参加頂き、積極的に実習に取り組まれている様子を拝見致しました。この度の活動を通して、参考になるものがありましたら幸いです。インターンシップに来てくださりありがとうございました。

モノづくりにおいて、知名度はないものの世界規模で戦っているメーカーの存在を少しでも深めていただけたなら幸いです。また、近い将来の進路選択において、船舶・海洋、あるいは通信・音響工学等に関心を高めてくださるよう切にお願い申し上げます。

インターンシップに来られた生徒さんが、出会う社員全員に挨拶している様子を見て本当に感心しました。また、仕事では、教えられたことを素直に聞いて、真面目に取り組んでいただき助かりました。今後も東播工業の生徒さんが継続してインターンシップに来て当社を知っていただき、良い関係を築かせていただければ有難いと考えています。

インターンシップ5日間無事終了することができました。学生達も普段体験できない事を多くして頂き、満足して頂けたかと思えます。「感想文集」楽しみにしています。今後ともよろしく願い致します。

無事に終了でき何よりです。2名の生徒さんは、勉学に部活に頑張ってくれると思いますが、今回の経験が将来の何かお役に立てればと思います。こちらこそ貴重な経験をいただきありがとうございました。

学生の子どもに対する対応も目線を低く大変穏やかに接していました。今後、何かあれば協力させていただきます。宜しくお願い致します。

今回の生徒さんも真剣に業務に向き合い、取り組んでくれました。今後の生活に役立てて頂くと何よりと存じます。来年以降におきましても、インターンシップの受入のご協力をさせて頂く所存でございます。今後とも、よろしく願いいたします。

【受け入れ事業所一覧】（順不同・〔 〕内の数字は参加人数）

11月13日(月)～11月17日(金)実施分

明石土建(株)〔2〕 (株)石本建設〔5〕 井上化成(株)〔2〕 (株)上林電気商会〔2〕
 (株)大浦ミート〔2〕 オークラ工業(株)〔2〕 (株)オオナガ〔2〕 (株)貝塚工務店〔3〕
 (株)籠谷〔2〕 カマダ工業(株)〔2〕 (株)関工エンジニア〔3〕
 関西電気保安協会加古川営業所〔3〕 関西熱化学(株)加古川工場〔2〕 (株)神崎組〔3〕
 キッコーマン食品(株)高砂工場〔2〕 (有)協栄工業〔2〕 協永電機(株)〔2〕
 (株)協和電気商会〔2〕 キンキ産業(株)〔1〕 クラウン商事(株)〔1〕 上月自動車(株)〔4〕
 (株)神戸工業試験場〔2〕 (株)神戸マツダ 東加古川店〔1〕 (株)コダイ〔3〕
 小林設備(株)〔1〕 (株)コベルコ科研〔2〕 (有)コレクト〔1〕 (株)サーテック永田〔2〕
 (株)サトー〔2〕 三幸道路(株)〔2〕 (株)サンデン〔2〕 塩谷建設(株)〔2〕
 (株)シカタ〔3〕 しなのや電機(株)〔2〕 (株)Jam Home エステート〔2〕
 Marble Café (株式会社 Jam Home エステート)〔3〕 新関西衣料サービス(株)〔3〕
 (株)神鋼エンジニアリング&メンテナンス〔6〕 新日鐵住金(株)広畑製鐵所〔4〕
 神和鋳金工業(株)〔3〕 (有)スプリング〔1〕 セイヨウプランオフィス(有)〔1〕
 大成エンジニアリング(株)〔2〕 大鉄工業(株)〔1〕 ダイワボウポリテック(株)播磨工場〔2〕
 多木化学(株)〔5〕 滝川工業(株)〔2〕 建部工業(株)〔2〕 土井建設(株)阿弥陀営業所〔1〕
 東城自動車工業(株)〔2〕 東播産業(株)1080family〔オートテクノス〕〔2〕
 東播産業(株)東加古川SS〔2〕 東播電設工業(株)〔2〕 東レKPフィルム(株)〔1〕
 ニシカワ食品(株)〔1〕 (株)西村組〔2〕 (株)ニッケ機械製作所〔3〕
 日本毛織(株)印南工場〔4〕 ネクストガス(株)〔1〕 埴淵鉄工(株)〔3〕
 (株)播磨設計コンサルタント〔1〕 バンドー化学(株)加古川工場〔2〕
 BAN-BAN ネットワークス(株)〔2〕 姫菱テクニカ(株)〔2〕 兵庫スバル自動車(株)高砂店〔1〕
 (株)兵庫製作所〔2〕 兵庫ベンダ工業(株)〔2〕 兵神機械工業(株)〔2〕 平錦建設(株)〔2〕
 福本重機械工業(株)〔2〕 (株)フジデン〔3〕 (株)フジヤ號〔2〕 古野電気(株)三木工場〔1〕
 ホンダ カーズ 加古川〔2〕 前川建設(株)〔2〕 前島食品(株)〔2〕 松本精工(株)〔2〕
 松本鉄工(株)〔1〕 (株)丸十〔2〕 (有)宮崎電工〔2〕 (株)モノポリス森下組〔3〕
 モリスホームセンター高砂米田店〔5〕 (株)山口電機〔2〕 大和製衡(株)〔1〕
 山脇自動車〔3〕 ヨドプレ(株)〔2〕 (株)リョーサン〔2〕 YK 商会〔2〕
 駅前あかり保育園〔4〕 キューピット保育園〔2〕 聖パウロこども園〔4〕 東播保育園〔2〕
 蓮池保育園〔4〕 母里保育園〔6〕 米田西保育園〔6〕
 加古川公共職業安定所〔2〕 高砂市〔2〕 合計 224 名

別時期実施分

8月 川崎重工業(株)明石工場〔1〕 兵庫県庁〔1〕 加古川市役所〔1〕
 10月 加古川中央消防署〔5〕 合計 8名

進路講演会 実施報告書（土木科）

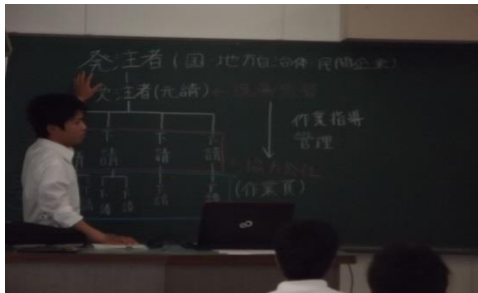
学校名	兵庫県立東播工業高等学校	科 名	土木科	回 数	1 回
期 日	平成 2 9 年 7 月 1 1 日 (金)	学 年	2 学年	受講人数	3 9 名
講 師	所 属	株式会社新井組			
	氏 名	川畑 陸 氏 (本校土木科平成 2 8 年 3 月卒業)			
	住 所	西宮市池田町 1 2 - 2 0			
場 所	土木科 測量実習室		時 間	5 0 分	

・特別活動等の中の位置づけ



講演を通し、道路や、河川などの社会基盤整備等に加え、災害時の応急・復旧事業を担う建設業の方を迎えて、建設業の魅力を生徒に理解させ、建設産業への入職促進を図るため、将来の進路決定の一助とする。

内 容



- ・ 建設業とは
- ・ 建設業に就いての現在の気持ちや意気込み
- ・ 質疑応答
- ・ アンケート記入

本講演会は、本校を平成 2 8 年 3 月に卒業した生徒にお願いした。生徒との年齢も近く、また、上司の積極的な講師本人へのアプローチもあり、何度も事前打ち合わせ等も行い実施することが出来た。

成 果 (生徒の感想より)

- ・ 話を聞いて、建設業にはたくさんの魅力があることが分かった。
- ・ 土木技術者が減り、改めて建設業の重要性を教えてもらった。
- ・ 私も上に立って、指示が出来るような人になり、地図に残る仕事をしてみたいです。
- ・ 建設業の悪いイメージがかき消されました。
- ・ 1 つの物をつくるのに、たくさんの職種の人が関わっていることがわかりました。
- ・ 仕事の内容だけでなく、アフターファイブのことなども教えてくれて興味がわきました。

(備考) 受講生徒を対象に次の調査項目を含むアンケートを実施した。(抜粋)

(調査対象 4 0 名)

アンケート項目	YES (%)	NO (%)	どちらでもない (%)
建設業のことはわかりましたか	9 5	5	0
魅力紹介の内容はわかりましたか	9 0	5	5
建設業は良いイメージですか(before)	4 0	4 0	2 0
同上 (after)	6 5	1 5	2 0
将来、建設業で働きたいですか	7 0	5	2 5